

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

松永おさみ

いちかわ

後援会だより

第31号

事務所 原木 1-22-16

電話・FAX 047-327-1470 www.matsunaga-o.net

2月議会

米飯給食用の米を支給!

堅実・実行型予算

総額一九〇一億円余

市川市議会二月定例会は、二月十六日に開会され、三月二十五日迄の三十七日間にわたり開催されました。

二月議会は、新年度予算を審議することから、予算議会ともいわれ会期も長く、一般会計をはじめ特別、企業会計も含めた議論が行われました。この議会では、市長から提案された予算関連議案として補正予算を含め二十一案と条例請負契約等二十三案、人事案件六案を審議し、全て原案通り可決しました。松永おさみ市議は、一般質問を行い地域の交通安全対策や定額給付金について、市の対応を質問しましたのでその内容を以下ご報告させて頂きます。

交通安全対策について

質問『市道七〇三六号(ばらき苑自治会内の生活道路)の大型自動車の通行規制と、H・Cコーナン出入り口に信号機設置についての市の考え方を伺う。最近この道路に大型自動車の進入がとみに増え、交通事故の危険にさらされ、人身事故も発生、物損事故も後をたないで、早急に大型車の進入規制を、更には死亡事故も発生しているコーナン入口に信号機を付けて欲しい』

答弁『七〇三六号は、幅員六m程度の道路で生活に密着しており二俣小の通学路でもある。この度、ばらき苑・原木・東原木自治会長の連名で、要望・陳情が出されたことを受け、市川警察にその内容を連絡した。以前にも警察に要請していることから、市民の意向は理解しており、県警本部にも要望を伝えている。市としては、この市道が安心して利用できる道路となるよう、警察署等と引き続き協議してまいりたいと考えている』

※再質問で、安全安心な街づくりの実現に向けて、今後結果・成果が出る迄継続して協議して欲しいと強く要望した。

質問『コミュニティバスの社会実験運行は、いつを目処に本格運行にするのか、期限を決めて決断すべきではないか』

答弁『本格運行に移行する為の条件である地域の方々、バス運行事業者、市で構成する実行委員会の構築が必要になる。実際の移行時期については運行指針により速やかにしていきたい』

質問『都市計画道路三・四・十三号の進捗状況と見通しを伺う』

答弁『この道路は、妙典橋の建設により、高谷・原木地区と行徳地域との一体性にも寄与する重要道路と考えている。現在高谷の産業道路迄の約三百m区間で約八十%の土地を取得、整備工事中である。事業化区間の早期完成とその先原木インターまでの事業化を引き続き要望していく。』

質問『原木料金所の百円を撤廃できないか』

答弁『一つの料金所だけを無料化することは難しいと考えざるを得ないが、多くの市民が利用している市内交通処理の上でも重要な役割を果たしているため、引き続き国を含め関係機関との協議をしていきたいと考えている』

定額給付金について問う

質問『国の経済浮揚策の一環として、今年度中に支給を目指す二兆円規模の定額給付金の細部を伺う。市民は一日も早い支給を待ち望んでいることを考慮して答弁されたい』

一 支給は五月中旬から一

答弁『四月十三日に申請書を発送、その後郵送で申請を受け審査等を行い、最初の支給は五月中旬を予定。本市の場合二十二万世帯に振込手続きを行うが、一日一万件程度の処理につき振込処理まで約八週間かかる。基準日は二月一日で住民登録されている方、支給額は約六十八億九千六百万円、その内訳は二万円受給の六十五才以上の方七五、五〇〇人、十八才以下は七七、〇〇〇人、加算のない一万二千円の人は三十二万五千人』

※子育ての応援特別手当の支給・処理も同時に行われる。対象者は五千七百人で、一人当たり三万六千円、総額二億五千万円を予定している。松永おさみはこの質問で定額給付金を一日も早く、連休前に支給できるよう努力を要請し、その実現を求めました。

スポーツ施設の整備について

質問「高齢者の健康維持増進を培う場として、二十三年間利用されてきた稲荷木のグレートボール場が、外環道路用地に買収されたため今年中に廃止されてしまうので、その代替地を確保して欲しい」

答弁「稲荷木地域に適地が見当たらない現状で、代替地確保は非常に難しいが、引き続き新たな場所を探すとともに、情報収集をしてまいりたい」

質問「W・H・O健康都市連合国際大会の記念事業として、世代交流のためにも市内にパークゴルフ場を新設して欲しい」

答弁「パークゴルフは、年令に関係なく多世代にわたり楽しめるスポーツである。愛好者の活動状況を調査し、グラウンドゴルフとの整合も含め、施設整備の全体計画の中で研究してまいりたい」

原木西浜公園の周回道路整備は

質問「西浜土地区画整理組合事業は、十三年余の期間を要してこの度竣工した。この周回道路一・六KMを早急に整備して地域の人達の利用に供して欲しい、見通しを伺う」

答弁「この地域の整備については、意見交換会でも散策や自転車での回遊ルート、改善点など議論されている。今後、街回遊展終了後に意見交換会での成果と、市民の声を反映させた信篤・二俣地区における街めぐりルート等の提言をいただき、方針を固め、県に要望を行って道路整備を考えていく」

市川市の二十一年度一般会計予算 九年ぶりの減額五%一、一七六億円

新年度の予算は、平成十三年度から二十二年度迄の十か年計画である市川市基本計画の総仕上げの時期として、健康都市連合国際大会のテーマである健康で安全な都市社会構想を目指した施策を中心に編成された。その結果八年続いた積極予算から堅実実行型の予算となった。一般会計では、広尾防災公園の用地購入の終了、市川駅南口の再開発事業の進捗などにより特別会計への繰出金が大幅に減少し五%の減となった。特別会計全体では、市川駅南口の再開発事業の終了、後期高齢者医療制度への移行による減などで二十・九%の減となったこと等により、予算総額は一九〇一億八千八百万円、十一、三%減となった」

平成二十一年度の主な事業

- ☆広尾防災公園整備事業 九億一、八五〇万円
- ☆街頭防犯カメラ設置事業 五、七八一万円
- ☆子ども医療費助成事業 八億八、三九八万円
(小学校六年生まで拡大)
- ☆浦安市川市民病院民営化事業 十一億一、七五四万円
- ☆急病医療情報案内事業 三、〇四〇万円
- ☆中山参道電線類地中化・街なみ環境整備事業 六、四五〇万円
- ☆私立幼稚園園児補助金 一億九、三五八万円
(一人年額三万五千円)
- ☆私立幼稚園幼児教育振興費補助金 七、〇六五万円
- ☆学校給食費安定化食材購入緊急措置事業 一億一、〇〇〇万円
(主食の米三五〇トンを現物支給)
- ☆市川駅南口図書館運営事業 一億〇、四八四万円

(この表は予算における市・県・国の比較です)

人口1人あたり、1世帯あたり予算額(市・千葉県・国)

区分	項目	平成21年度	平成20年度
1. 市の予算	一般会計	117,600百万円	123,800百万円
人口 473,055人	1人あたり	248,597円	263,321円
世帯 216,338世帯	1世帯あたり	543,594円	580,305円
2. 千葉県の予算	一般会計	1,426,683百万円	1,440,660百万円
人口 6,153,658人	1人あたり	231,843円	235,543円
3. 国の予算	一般会計	68,548,001百万円	83,061,340百万円
人口 127,705,000人	1人あたり	693,379円	650,009円

人口1人あたり、1世帯あたり税負担額(市・千葉県・国)

区分	項目	平成21年度	平成20年度
1. 市 税	一般会計	78,139百万円	78,190百万円
人口 473,055人	1人あたり	165,180円	166,309円
世帯 216,338世帯	1世帯あたり	361,189円	366,511円
2. 県 税	一般会計	7,165億円	7,981億円
人口 6,153,658人	1人あたり	116,435円	130,487円
3. 国 税	一般会計	481,030億円	535,540億円
人口 127,705,000人	1人あたり	361,012円	418,095円

※市の人口及び世帯数、千葉県の人口は21年1月1日現在、国の人口は20年8月1日現在です。